

令和9年度 入学教育課程表(案)

A 表

(表 面)

教育局	オホーツク
-----	-------

北海道雄武高等学校	全日制課程
-----------	-------

学科	普通科
----	-----

第1学年の 学 級 数	1
----------------	---

教科	学年		1 年	2 年	3 年	計
	科目・標準単位数	類型				
語国	現 代 の 国 語	2	2			2
	言 語 文 化	2	2			2
	論 理 国 語	4		2	2	4
	文 学 国 語	4		2	2	4
	国 語 表 現	4				
	古 典 探 究	4				
	○ 古 典 読 解	3			3	0～3
地理 歴史	地 理 総 合	2	2			2
	地 理 探 究	3				
	歴 史 総 合	2		2		2
	日 本 史 探 究	3			3	0～3
公 民	世 界 史 探 究	3				
	公 共	2	2			2
	倫 理	2				
数 学	政 治 ・ 経 済	2			3	3
	数 学 I	3	3			3
	数 学 II	4		4		4
	数 学 III	3			3	
	数 学 A	2	2			2
	数 学 B	2		2		0～2
	数 学 C	2			2	0～2
理 科	○ 数 学 研 究 I	3			3	0～3
	科 学 と 人 間 生 活	2		2		0～2
	物 理 基 礎	2		2		0～2
	物 理	4				
	化 学 基 礎	2	2			2
	化 学	4				
	生 物 基 礎	2		2		2
	生 物	4			4	4
	地 学 基 礎	2				
	地 学	4				
保 育	体 育	7～8	2	3	2	7
	保 健	2	1	1		2
芸 術	音 楽 I	2	2			2
	音 楽 II	2		2		2
	音 楽 III	2			2	2
	美 術 I	2				
	美 術 II	2				
	美 術 III	2				
	工 芸 I	2				
	工 芸 II	2				
	工 芸 III	2				
	書 道 I	2				
	書 道 II	2				
	書 道 III	2				
外 国 語	英 語 コミュニケーション I	3	3			3
	英 語 コミュニケーション II	4		3	3	6
	英 語 コミュニケーション III	4				
	論 理 ・ 表 現 I	2		2		0～2
	論 理 ・ 表 現 II	2			2	0～2
家 庭 情 報	論 理 ・ 表 現 III	2				
	家 庭 基 礎	2	2			2
	家 庭 総 合	4				
理 数	情 報 I	2	2			2
	情 報 II	2		2		
理 数	理 数 探 究 基 礎	1				
	理 数 探 究	2～5				

(裏面)

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年		2 年		3 年		計
商業	簿記	2～5			2				0～2
	原価計算	2～5					3		0～3
	情報処理	2～5					3		0～3
	マーケティング	2～4		2					0～2
家庭	フードデザイン	2～8					2		0～2
	○生活教養	2					2		0～2
音楽	演奏研究	2～6					2		0～2
総合	○B A S	1	1						1
	○まちと表現活動	2			1		1		2
各学科に共通する各教科・科目の計			27		23～27		17～27		67～81
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0		0～4		0～10		0～14
学校設定教科に関する科目の計			1		1		1		3
総合的な探究の時間 (おうむ学)			3～6	1	1		1		3
合 計			29		29		29		87
特別活動	ホームルーム活動		1		1		1		3
教 育 課 程 に 係 る そ の 他 の 事 項									
卒業までに修得させる単位数				単位	卒業に必要な履修と修得の単位数	1 分離している ○ 2 分離していない			
学期の区分			○ 1 3学期制 2 2学期制		学期の区分ごとの単位修得の認定	1 実施している ○ 2 実施していない			
1 単 位 時 間 の 弾 力 化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()						
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (④) 2 実施していない						
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。						
備 考	① 論理・表現Ⅱを選択できる者は、論理・表現Ⅰを選択した者に限る。 ② 生活教養は、より専門的な内容(服飾・調理等)を学ぶため、学外から講師を招き講義や実習を行う科目とするため専門教科の選択科目として設定する。								

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。